

## 京都文化博物館 総合展示のご案内

令和 8 年 7 月 28 日  
京都府京都文化博物館

京都文化博物館では、2 階総合展示室にて「古都点描－井澤元一<sup>もといち</sup>がみた京都」、「円山応挙と弟子たち」を開催いたします。

- ・会 期：令和 8 年 8 月 1 日（土）～9 月 27 日（日）
- ・会 場：京都文化博物館 2 階展示室
- ・主 催：京都府、京都文化博物館

### ■古都点描－井澤元一<sup>もといち</sup>がみた京都

京都を拠点に活動し続けた画家・井澤元一（1909 - 1998）。彼が後半生のモチーフに選んだのは、京都の風物や祭礼です。祇園祭の鉦を皮切りに、葵祭や時代祭、鞍馬の火祭ややすらい祭など、数々の祭礼を描きました。一方で、「京都人は、京都の風物を描くのに、なぜか抵抗を感じる」と述べる井澤の表現には、見慣れたものを描くことに対する無意識の葛藤が含まれています。うす塗りでありながらも、重厚な雰囲気漂う絵画世界には、井澤のたどってきた軌跡と思想が込められています。

本展では、今年新版として復刊される『井澤元一画文集 古都点描』（1979 年）の原画をはじめ、油彩作品や関連資料を展示し、彼の表現とその時代を振り返ります。「古都」の風物を、井澤の視点からご覧ください。



井澤元一《やすらい祭》1983 年  
京都府蔵（京都文化博物館管理）

### ■円山応挙と弟子たち

2026 年は、円山応挙没後 200 年の節目にあたります。応挙は四条通沿いに居をかまえ、京都の町衆と深くかわりながら活動の幅を広げていきました。のちに「応門十哲」と呼ばれた応挙の弟子たちも、四条河原町から四条烏丸のあたりに住んでいました。このことが、のちに「四条派」と呼称される所以となりました。

本展では、近年寄贈・寄託を受けた作品を中心に、初公開作品を数多くご紹介します。



島田雅喬《高階家別荘図巻》（部分）  
高階家伝来 京都府蔵（京都文化博物館管理）

### 担当学芸員による報道機関向け展示説明会のご案内

日 時： 令和 8 年 8 月 4 日（火）13：00～

会 場： 京都文化博物館 2 階展示室内

問 合 せ 先： 京都文化博物館 広報調整担当係

〒604-8183 京都市中京区三条高倉 京都文化博物館内

Tel/075-222-0835 Mail/koho2006@bunpaku.or.jp

上記日程以外でも、随時取材を受付しております。ご遠慮なくお問合せください。

～京都府京都文化博物館報道発表資料～